



## DCNM 検証を行う Tetration エージェント

Tetration ソフトウェア エージェントは、ホスト システムで実行される小さなソフトウェア アプリケーションです。その主な機能は、ネットワークフロー情報をモニタおよび収集することです。また、システムで実行されているネットワークインターフェイスやアクティブなプロセスなど、その他のホスト情報も収集します。エージェントによって収集された情報は、さらなる分析処理のために Tetration クラスタ内で実行されている一連のコレクタにエクスポートされます。

- [DCNM 検証を行う Tetration エージェント \(1 ページ\)](#)

## DCNM 検証を行う Tetration エージェント

Linux プラットフォームで詳細可視性適用エージェントを展開する場合は、インストーラ スクリプトを使用することをお勧めします。

### 始める前に

インストールされたエージェントを Tetration クラスタに接続する場合は、**ACTIVATION\_KEY** および **HTTPS\_PROXY** パラメータが必要です。インストーラ スクリプトを使用すると、自動的に **ACTIVATION\_KEY** が入力されますが、HTTPS\_PROXY 情報をスクリプトに直接挿入する必要があります。

手動展開を使用する場合は、**ACTIVATION\_KEY** と **HTTPS\_PROXY** の両方のパラメータを手動で挿入します。詳細については、「[Tetration SaaS のユーザー設定](#)」を参照してください。

### 手順

- ステップ 1 クレデンシャルを使用して Cisco TetrationOS ソフトウェアの Web UI にログインします。
- ステップ 2 [設定 (Settings)] メニューから [エージェント設定 (Agent Config)] を選択して、[エージェント設定 (Agent Config)] ウィンドウを表示します。
- ステップ 3 [ソフトウェア エージェント ダウンロード (Software Agent Download)] タブに移動します。
- ステップ 4 [Select Platform (プラットフォームの選択)] セクションで [Linux] を選択します。

- ステップ 5** [Select Agent Type (エージェントタイプの選択)] セクションで [Deep Visibility] または [Enforcement] を選択します。
- ステップ 6** [Download Installer (インストーラのダウンロード)] ボタンをクリックし、ファイルをローカルディスクに保存します。
- ステップ 7** ルート権限で DCNM にログインします。インストーラ シェル スクリプトをコピーし、スクリプトを実行します。
- (注) エージェントがすでにインストールされている場合、インストーラ スクリプトは続行されません。

インストーラ スクリプト コマンドおよびその構文は、次のとおりです。

```
$ tetration_linux_installer.sh [-skip-pre-check] [-noInstall]
    [-logFile=filename] [-proxy=proxy_string>] [-skip-ipv6-check]
    [-help] [-version] [-sensor-version=version_info] [-ls] [-file=filename]
    [-save=filename] [-new]
```

<b>-skip-pre-check</b>	インストール前のチェックをスキップします。
<b>-noInstall</b>	センサー パッケージはダウンロードされず、システムにインストールされません。
<b>-logFile filename</b>	filename で指定されたファイルにログを書き込みます。
<b>-proxy proxy_string</b>	HTTPS_PROXY の値を設定します。クラスタとの通信にプロキシサーバが必要な場合は、これを使用します。文字列は <code>http://proxy:port</code> の形式にする必要があります。
<b>-skip-ipv6-check</b>	IPv6 検証をスキップします。
<b>-help</b>	このヘルプ情報を出力します。
<b>-version</b>	現在のスクリプトのバージョンを印刷します。
<b>-sensorVersion version_info</b>	特定のセンサー バージョンをダウンロードします。デフォルトは最新バージョンです。version_info エントリの例は <code>-sensor-version = 3.1.1.53.devel</code> です。
<b>ls</b>	システムで使用可能なすべてのセンサー バージョンを一覧表示します (3.1 より前のパッケージは一覧表示しません)。これはリストのみです。パッケージをダウンロードしません。
<b>-file filename</b>	クラスタからダウンロードする代わりに、センサーのインストールに使用するローカル zip ファイルを指定します。
<b>-save filename</b>	Tetration クラスタからインストーラの zip ファイルをダウンロードし、ファイル名を付けてローカルに保存します。
<b>-new</b>	Tetration エージェントがこのローカル マシンにすでにインストールされている場合は、すべてのコピーをアンインストールまたは削除します。

- ステップ 8** 次のコマンドを実行して、エージェントがインストールされていることを確認します。

```
sudo rpm -q tet-sensor
```

エントリは次のように表示されます。

```
$ sudo rpm -q tet-sensor
```

```
tet-sensor-3.1.1.50-1.el6.x86_64
```

(注) DCNM ネイティブ HA クラスタ展開には、DCNM プライマリ、DCNM セカンダリ、および3つのコンピューティングノードの5つのノードがあります。DCNM クラスタを完全に可視化するために、これらの各ノードに Tetration エージェントをインストールします。

図 1: DCNM クラスタを使用する Tetration エージェント

Host	Hostname	Agent Type	IP Addresses	SW Version	Platform	First Check-In	Last Check-In	VRF
	<input type="checkbox"/> epl-compute3	Enforcement	172.28.188.23 172.28.188.24 172.28.188.25 192.168.1.100 192.168.1.101 ...16 more	3.3.2.23-enforcer	CentOS-7.7	May 6 2020 03:31:33 am (PDT)	May 11 2020 01:51:57 pm (PDT)	DCNM
	<input type="checkbox"/> epl-compute2	Enforcement	172.28.188.22 172.28.188.23 172.28.188.24 192.168.1.100 192.168.1.101 ...15 more	3.3.2.23-enforcer	CentOS-7.7	May 6 2020 03:31:21 am (PDT)	May 11 2020 01:47:58 pm (PDT)	DCNM
	<input type="checkbox"/> epl-compute1	Enforcement	172.28.188.21 172.28.188.22 172.28.188.23 192.168.1.100 192.168.1.101 ...27 more	3.3.2.23-enforcer	CentOS-7.7	May 6 2020 03:31:09 am (PDT)	May 11 2020 01:55:24 pm (PDT)	DCNM
	<input type="checkbox"/> epl-haSecondary	Enforcement	172.28.188.27 172.28.188.28 172.28.188.29 192.168.1.100 192.168.1.101 ...8 more	3.3.2.23-enforcer	CentOS-7.7	May 6 2020 03:25:17 am (PDT)	May 11 2020 01:41:22 pm (PDT)	DCNM
	<input type="checkbox"/> epl-primary	Enforcement	172.28.188.20 172.28.188.21 172.28.188.22 172.28.188.23	3.3.2.23-enforcer	CentOS-7.7	May 6 2020 03:24:55 am (PDT)	May 11 2020 02:01:04 pm (PDT)	DCNM

